

令和4年2月21日

業務完了報告書

鳴門教育大学教員教育国際協力センター

石坂 広樹

1. 案件の概要

(1) 案件名

(和文) 2020年および2021年度年度課題別研修「学校運営改善を通じた質の高い学びの保障～コミュニティ協働の観点から～」

(英文) Ensuring Quality Learning through Enhanced School Management –From the Perspective of Community- Wide Collaboration

(2) 研修期間 令和4年1月24日～令和4年2月18日

(3) 研修員数 12人

2. 研修内容

(1) 案件全体概念図

(2) 単元目標毎のカリキュラム構成

(3) 日程表(単元目標と関連付けたもの)

3. 案件目標(アウトカム)と単元目標(アウトプット)の達成度

(1) 案件目標(アウトカム)

参加者が、地域住民の参画を得て学校運営委員会を機能させ、初等教育へのアクセスと質の改善(特に子どもの基礎学力の向上)を図るための研修を地域住民及び学校等に対して行えるようになる。

指標: 研修員が本邦研修終了時に提出したアクションプランの中で、地域住民の参画を得て学校運営委員会を機能させ、初等教育へのアクセスと質の改善(特に子どもの基礎学力の向上)を図るための研修を地域住民及び学校等に対して行う活動が明記されている。また、研修員の帰国後2ヶ月以内にアクションプランが所属組織の中で共有される予定になっている。

(2) 単元目標(アウトプット)

単元目標①: 参加各国の教育開発の現状(特に子どもの基礎学力)に対し、住民参加による教育開発の教育政策における位置づけ及び役割が理解される。

指標: 研修員が研修初期に発表した、学力向上への取り組みや住民参加型学校運営に関する発表や同内容の講義での質疑・議論について4段階評価でB(やや優れている)以上。

単元目標②:住民参加による教育開発アプローチの理論的枠組みと実践例が理解される。

指標:住民参加による教育開発アプローチの理論的枠組みと実践例に関する講義における質疑・議論が4段階評価でB(やや優れている)以上。

単元目標③:住民参加による教育開発(子どもの基礎学力向上のための取組みを含む)のための手法が習得される。

指標:住民参加による教育開発(子どもの基礎学力向上のための取組みを含む)のための手法に関する講義での質疑・議論,さらに演習の実践について4段階評価でB(やや優れている)以上。

単元目標④:参加各国で実施可能な住民参加による教育開発のためのパイロット活動計画案(研修資料案,予算案を含む)が作成される。

指標:研修員により作成された住民参加による教育開発のためのパイロット活動計画案(研修資料案,予算案を含む)が4段階評価でB(やや優れている)以上。